

言語聴覚療法

言語聴覚療法とは

脳卒中などが原因で起こる、言葉や聞こえ、食べることに障害を持っている方に対し、言語聴覚士による検査・評価を行い、どんな問題や課題を抱えているかを確認した上で、必要に応じた訓練や指導、助言などを行います。

	言語聴覚療法
対象	脳卒中やパーキンソン病、舌がんの手術後などで以下の症状のある方 ・失語症 (言葉が出てこない。理解できない。) ・高次脳機能障害 (集中できない。覚えられない。物事を計画してうまく進めることができない。) ・構音障害 (うまく発音できない。口や舌が動きにくい。) ・摂食嚥下障害 (食べたり飲んだりすることがうまくできない。すぐにむせてしまう。)
目的	言語聴覚障害(失語症・高次脳機能障害・構音障害)の改善 摂食嚥下障害の改善
方法	本人や家族からの情報収集 障害の有無や種類、重症度の判定をするための検査 言語・発声・構音・摂食嚥下機能や日常生活機能(コミュニケーション・食事)、社会参加に焦点を当てた訓練・指導・助言等

当院の言語聴覚療法

私たちは、コミュニケーションに問題を持つ方や、食事をとることに問題がある方に対して、入院直後よりリスク管理に配慮しながら、早期から介入し、相談・評価・訓練などの支援を行っています。また、急性期だけでなく回復期病棟、療養病棟においても医師、看護師、理学療法士、作業療法士など多職種と連携し、患者様の一日でも早い回復を目指して支援しています。

退院後も必要に応じて、外来でのリハビリや訪問リハビリを行い、急性期から回復期、維持期まで状態に応じた切れ目のないリハビリテーションを提供する体制を整えています。

私たちは、その方らしいコミュニケーションのあり方を追求し、その方に合った食事スタイルを提案していき、患者様に寄り添っていきます。

★治療風景を一部紹介します★

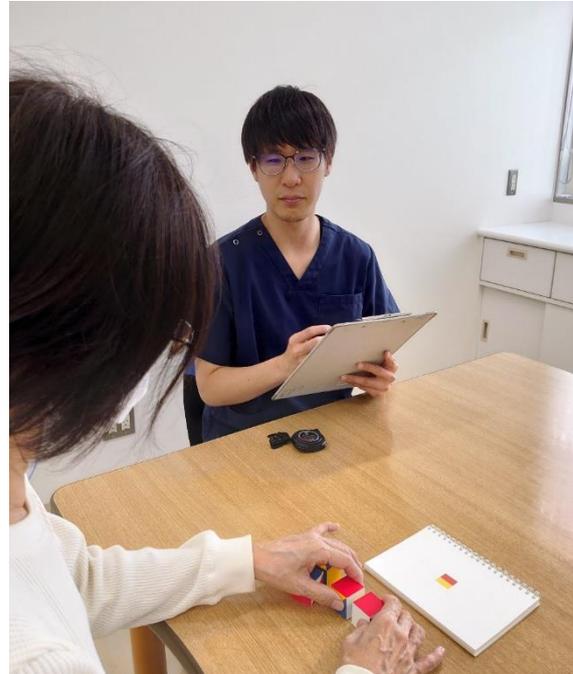
主なりハビリ内容

【失語症訓練】



言葉が出てこない、理解できないといった症状の方に、ひとりひとりの症状に合わせたリハビリを実施します。

【高次脳機能訓練】



記憶や注意などの高次の脳機能について、個人の症状に応じたリハビリを実施します。

【構音訓練】



唇や舌が動きにくく、発話の誤りや呂律がまわらないといった症状に、その方に合わせたリハビリを実施します。

【摂食嚥下訓練】



口や舌の運動、飲み込みの練習、その方にとって食べやすい食事の設定などを行います。



のどの感覚を高め、飲み込みを促進する機器です。この機器を使った訓練により、脳卒中などになられた方の摂食嚥下機能の回復を目指します。